

# 再生資材(陶磁器くず等)を中詰材に用いた エコボックスの試験・モデル施工

## ●はじめに

東日本大震災により発生した陶磁器くず等の再生資材「瓦・レンガくず、コンクリートがら、津波堆積土砂」の有効利用として、箱型組立擁壁「エコボックス」の中詰材として利用する試験・モデル施工を実施し、再生資材仕様の設計手法および施工を実証しました。

モデル施工の結果、「エコボックス」は、コンクリートくず、陶磁器くず、津波堆積土砂のいずれも中詰材として使用できることを確認しました。

また、これらの再生資材の使用により低コストで築造できることを実証しました。

## ・エコボックス(NETIS:TH-990073-V、NETIS災害復旧:TH-990073、ARIC:334)

中空の箱型プレキャストコンクリート製品を積み上げ、内部に土砂や砕石等を充填し、一体化した重力式・もたれ式擁壁。積み上げが容易で工期短縮でき、中低木の植栽など緑化ブロック等として利用できるため、生態系に配慮した施工が可能。

## ●試験施工写真



## ●施工実績



国立大学法人 お茶の水女子大学構内

## ●エコボックス:中詰材の単位体積重量試験 測定結果

### 瓦・レンガくず



16.7 (kN/m<sup>3</sup>)

### コンクリートがら



17.1 (kN/m<sup>3</sup>)

### 津波堆積土砂



15.3 (kN/m<sup>3</sup>)

